

平和

小学校高学年

中学校

高校

社会

地歴

総合

NHKスペシャル

59分

沖縄・戦場の記憶

(1997年放送)

この番組の良さ



沖縄戦に翻弄された小湾の人々

沖縄県浦添市の米軍基地・牧港補給地区に戦前「小湾」という小集落がありました。1945年、沖縄は住民を巻き込んだ激しい地上戦の舞台となり、20万人を超す犠牲者が出ました。小湾集落も空襲により焼失し、住民は避難を余儀なくされました。そして戦後、米軍基地建設のため集落は消滅しました。この番組では、「ありったけの地獄を集めた」と言われる沖縄戦の過程と米軍支配の実態を知ることができます。

沖縄戦の全体像を知るために

米軍にとって沖縄は、日本本土攻略の拠点として絶対に必要な場所でした。沖縄攻略のため、米政府は、沖縄の歴史や文化、社会構造を詳細に研究しました。番組では、沖縄戦の通史や全体像を知ることができます。また戦後のアメリカによる沖縄支配や現在も続く基地問題、さらに沖縄と日本の関係についても考えることができます。

番組活用のポイント

沖縄戦の実態や過程を学ぶために

歴史や総合的な学習の時間、沖縄修学旅行の事前学習として、沖縄戦や基地問題を調べる活動に取り組む学校は多いでしょう。沖縄戦の学習では、第二次世界大戦で住民を巻き込んだ地上戦が繰り返され、約3か月にわたる米軍との戦いの中で、「鉄の暴風」と呼ばれるほど多くの銃弾や砲弾が降り注いだことや、住民や兵士約20万人が亡くなったことなど、その被害の大きさや悲惨な体験に注目しがちです。

この番組はそのような沖縄戦の学習に新しい視点を与えてくれます。番組では、「小湾」の住民に焦点を当てます。90戸、500人あまりの半農半漁の小集落が、徐々に戦争に巻き込まれ、住民が防衛隊員や看護要員として動員されていく様子や、空襲による集落の焼失に伴い避難する様子、米軍による猛攻撃や日本軍からスパイ扱いされる様子など、戦争が平和な一つの集落とその住民にもたらした影響や過程、その被害について知ることができます。

アメリカ・日本の沖縄戦の意図や基地問題を考えるために

沖縄戦が、日本やアメリカのどのような意思決定のもとで始まり、その結果何が起きたのか、沖縄戦終結後や日本の敗戦後、沖縄では何が起きていたのか。番組では、沖縄と日本の関係に注目した米軍の緻密な研究や作戦、軍政の施行に伴う統治の状況、戦争の混乱の中での日本軍と沖縄の住民との対立、それを利用する米軍の投降作戦、「軍民一体・共生共死」「皇土防衛のための前縁」に見られる日本にとっての沖縄戦の役割など、沖縄戦の全体像を理解する授業に活用できます。また、小湾集落があった場所に現存する牧港補給地区や、沖縄戦後の土地接収による米軍の基地建設の状況から、現在も日本全体の70%以上が集中する基地問題を考える授業も展開できるでしょう。

学習展開例

授業時間 100分



沖縄県立
総合教育センター
研究主事 甲斐 崇

新着

沖縄戦とは何か

沖縄戦の原因や全体像について、考えてみよう

平和

時間配分	学習活動	教師の支援
10分	①沖縄戦に関する資料を見て、気づいたことを発表する。 ②気づいたことから学習課題をまとめる。 課題例： 「沖縄戦はどのようにして起きたのだろうか」 「なぜこのような被害が出たのだろうか」 ③学習課題に対する予想を立て話し合う。	○沖縄戦の被害の大きさ（戦死者など）が分かるグラフや表をあらかじめ準備しておく。 ○被害の大きさに注目させることで、その原因に目を向けさせるようにしたい。 ○グループなどで協議させ、児童生徒なりの予想を立てて番組を視聴する。
60分	④気づいたことをメモしながら番組を視聴する。  <p>視聴 沖縄県浦添市の海岸沿いに位置する広大な米軍基地・牧港補給地区</p>  <p>失われたふるさとを子や孫に伝えたいという思いから復元された、小湾集落の町並みの模型</p>	○授業は2時間扱いとし、番組は全て視聴する。 ○学習課題に関するヒントや回答になりうる部分や、大切だと思う内容については、メモを取ったり、ノートにまとめたりするように指示する。 ○「沖縄の住民」、「日本軍」、「アメリカ軍」とそれぞれの立場や視点に分けて考えさせるために、それぞれの行動や考えに注目させてもよい。 例：沖縄の住民がとった行動 日本軍が行なったこと、アメリカ軍が行なったことなど
20分	⑤学習課題に関して分かったことをまとめ、グループ内で協議する。 ⑥話し合った内容を発表する。	○番組内のどの場面や内容からなのか、根拠をもとに話し合うようにする。また、必要に応じて教科書や資料集などの補助資料も活用させるようにする。 ○沖縄戦の全体像や通史を押さえる学習課題であれば、「戦前」、「戦中」、「戦後」と、時期を分けて起きたことを整理するとよい。
10分	⑦現在の沖縄の基地問題の状況を伝え、沖縄の人々にとって「沖縄戦」とは何だったのか、考えたことや思ったことをノートやワークシートにまとめる。 ⑧グループ内や全体で発表する。	○学習全体を振り返り、沖縄戦後すぐに始まった基地建設や、その後続く米軍統治、現在も米軍基地が集中している沖縄の状況を踏まえた上で、沖縄戦とは何だったのかを考えさせたい。

コラム 平和教育の番組などに関連させて

NHKでは、ホームページ「戦争証言アーカイブス」(http://www.nhk.or.jp/shogenarchives/special/vol13.html#sd1_1)で沖縄戦について取り上げ、戦争の経過や証言などを動画で紹介しており、沖縄戦について総合的に学習することができます。さらに学習を深めたいときは、ティーチャーズ・ライブラリー「平和」の関連番組、「沖縄戦の絵～戦後60年・体験者が描いた戦場～」（2015年度版P.26）、『沖縄 よみがえる戦場～読谷村民2500人が語る地上戦～』（2009年度版P.34～P.37）、『兵士たちの戦争 住民を巻き込んだ悲劇の戦場』（2011年度版P.24）などをお勧めします。これらを組み合わせることで平和学習を効果的に進めることができるでしょう。